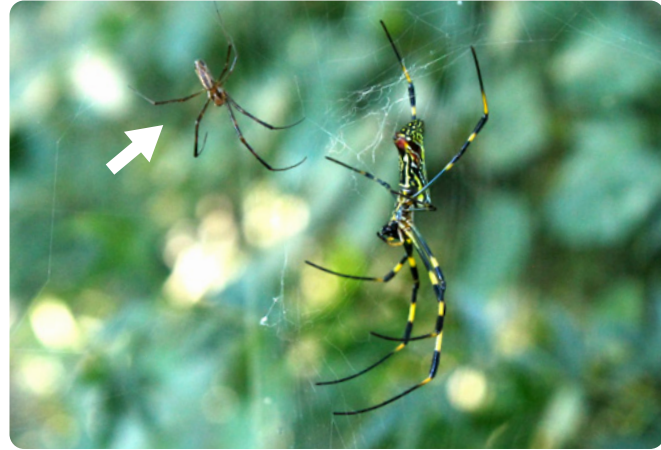


今週の

いきもの広場

① ジョロウグモ



大きな巣が目立つようになりました。春に生まれた個体で、まだまだ成長中です。巣に居候している小さなクモ（矢印）はオス、大きなほうがメスです。

② ギンシャチホコの幼虫



矢印の部分が頭です。背中のとげのような突起が目立ちますが、じっとしていると、葉っぱの枯れた部分にそっくりです。

③ コアオハナムグリ



園内ではいきもの広場のニラの花の上でよく見つかります。ハナムグリの名前のとおり、花の中に潜りこむように動き回るためか、体が花粉まみれになっていることが多いです。



④ コバネイナゴ

チカラシバなどのイネ科の植物の葉の上で休んでいることが多いです。バッタの原っぱを歩くと、このコバネイナゴを始め、たくさんのバッタのなかまたちが飛び出てきます。

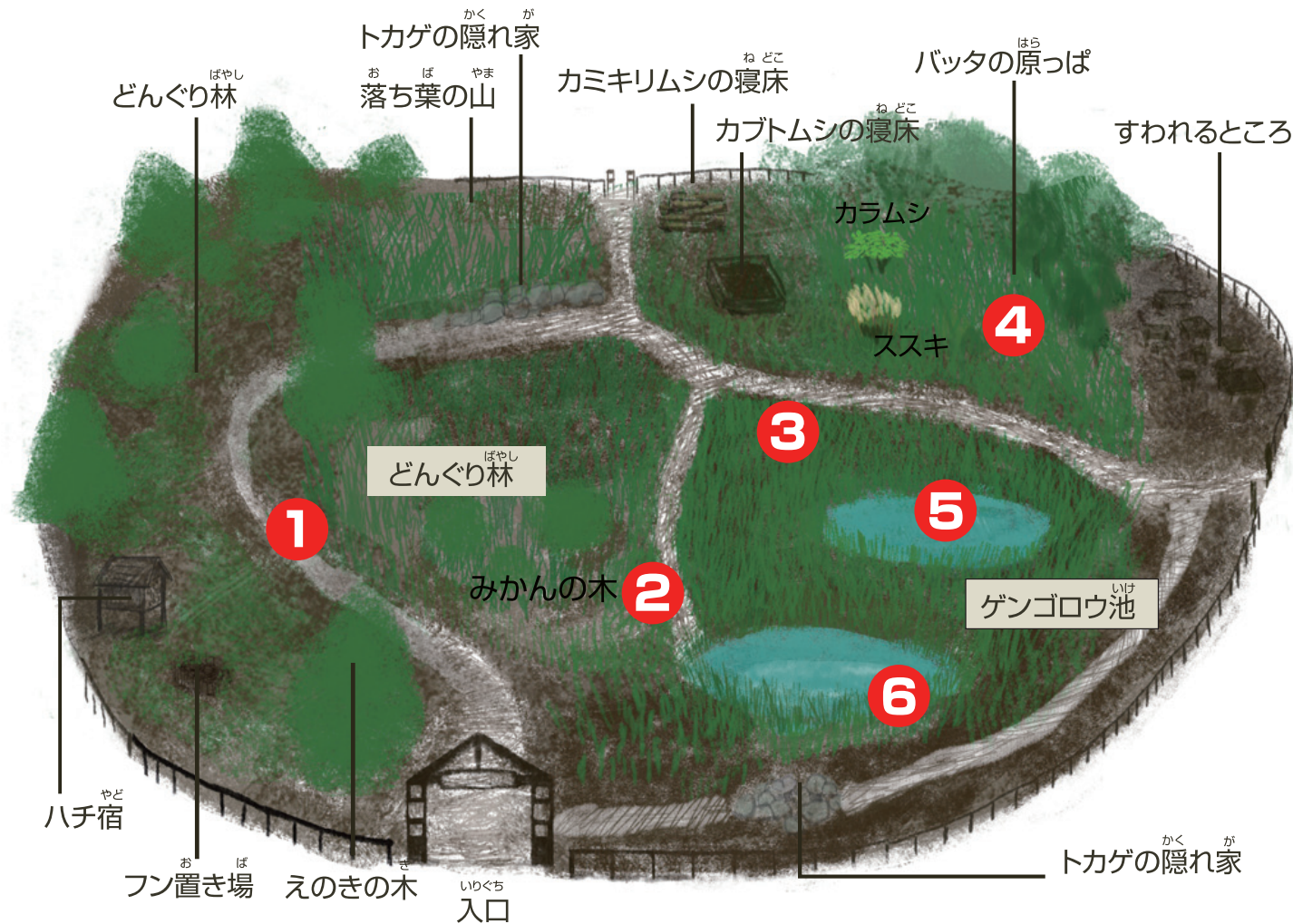


ニラの花が咲いています

ニラの花には色んな種類のいきものが集まります。花が咲いている期間は短いので、ぜひ早めにお越しください。

「いきもの広場で遊ぼう」 毎週日曜日11:00～12:00 *開催時間外はお入りいただけません。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。9月になり気温が下がってくると、いきものの種類も変わっていきます。秋の花が咲くと、羽のあるいきものが蜜を求めて集まります。



⑥ キタキチョウ



ネムノキやハギなどマメ科の植物の葉に卵を生みます。池の縁に生えているハギのまわりでは、数匹のキタキチョウが場所を取り合うように飛び回っていました。

⑤ オオシオカラトンボのオス



青い体色のオスと黄色のメスがくっついて飛んでいる姿を見かけるようになりました。メスが池に卵を産んでいる間、オスはすぐ近くを飛び回りペアのメスを他のオスから守ります。